［中国地方整備局］

総合的なコスト縮減の事例

ひとつの事業の中でも、いろんなところでコスト縮減を行っています。

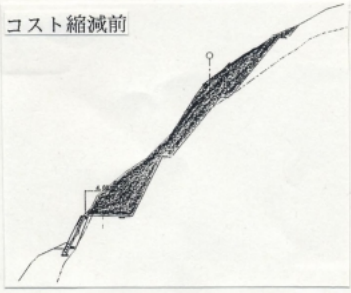
＜灰塚ダムの例＞

	施　策	縮減額(平成 12 年度)
(1)	天端橋梁ピア等を下流側シフト堤頂長短縮	２０,０００万円
(2)	骨材を原石山から採取する計画を河床砂礫に	５４,５００万円
(3)	現場岩盤状況に応じた合理化による基礎処理の施工量削減	１０,０００万円
(4)	通廊、堤内仮排水路ﾌﾞﾚｷｬｽﾄ化による工期短縮	６,１００万円
(5)	重力式ｺﾝｸﾘｰﾄ形式から河床砂礫を使用した CSG 工法(仮締切工事)	１,８００万円
(6)	線形見直しによる切土量の減(付替道路)	２,７００万円
(7)	補強土壁による切土量の減(付替道路)	５,３５０万円
(8)	伐開除根材の有効活用	７,５５０万円
	合計	１０８,０００万円

(8) 伐開除根材の有効活用

(6)線形見直しによる切土量の減(付替道路)
(7)補強土壁による切土量の減(付替道路))

コスト縮減前



コスト縮減後

灰塚ダム完成イメージ

(1)天端橋梁ピア等を下流側シフト堤頂長短縮
(2)骨材を原石山から採取する計画を河床砂礫に
(3)現場岩盤状況に応じた合理化による基礎処理の施工量削減
(4)通廊、堤内仮排水路ﾌﾞﾚｷｬｽﾄ化による工期短縮
(5)重力式ｺﾝｸﾘｰﾄ形式から河床砂礫を使用した
CSG 工法(仮締切工事)